

都レンジャー NEWS

小笠原
母島版
Vol. 5
'09. 12発行

ミズナギドリが落ちてくる?!

11月下旬から12月上旬にかけて、夕方〜夜に散歩をしているとき、道路上に鳥がぽつんと座っているのを見かけたことはありませんか? 実はこの鳥、ほとんどが母島周辺で巣立ったオナガミズナギドリのヒナなんです。

ミズナギドリ類はこの時期巣立ちを迎え、母島周辺を飛翔しています。光に寄ってくるため集落内に不時着します。道路上に不時着すると車にひかれる危険性が高くなるので、緊急的な保護が必要となります。



オナガミズナギドリ



鳥のレスキュー講習会
放鳥の様子 11月25日

昨年までは一部の関係者で保護をしてきましたが、落鳥数も多く人手が足りない状況でした。そこで、島民にも協力してもらおうと11月11・12日に大人向け、24・25日に子供向けの「鳥のレスキュー講習会」が開催されました。

講習会では、ダンボールに新聞紙を敷き、その中で一時保護する方法や、見つけた時の連絡先などが説明されました。

レスキュー講習会やチラシの効果なのか、今年度は都レンジャーにも連絡が入るようになりました。島民の協力により、11月25日現在で3羽を保護することができています。

まだまだミズナギドリ類の落鳥シーズンは終わっていません。もし、ミズナギドリ類が落鳥しているのを見つけたら声をかけてください。

★ 都レンジャー-NEWSはHPでもご覧になれます! ⇒ URL <http://www.soumu.metro.tokyo.jp/07ogasawara/55ranger/home.htm> ★

属島調査情報【8月】

都レンジャーは月に数回、属島調査を行っています。このコーナーでは、継続的に属島調査の報告をします。

姉島

◆ 迷蝶に出会った日

8月23日、姉島で珍しいチョウに出会いました。マルバネリリマダラというきれいな青い斑紋があるチョウです。迷蝶としてごく稀に母島でも見ることがあります。



マルバネリリマダラ
(矢印)

姪島

◆ 固有トンボのいる島

8月28日、姪島でシマアカネを確認しました。以前は母島でも見ることのできたトンボですが、今はほとんど見ることができません。



シマアカネ

父島での活動【10月】



10月26日、父島の都レンジャーとともに、小笠原中学校1年生に対して、南島移入種除去の事前レクチャーを行いました。

1年生は総合的な学習の時間で移入種の除去を実施しており、南島ではオオアレチノギク・シンクリノイガなどの移入種除去を行っています。

レクチャーでは、南島の現状や問題点、実際に現場で作業を行う際の注意点などについて話をしました。13人の生徒全員が一度は南島に行ったことがあるとのことでしたが、私たちの話に耳を傾け、熱心にメモを取る姿が印象的でした。

レクチャーの翌日に行う予定だった南島での現場作業は、残念ながら海況不良のため12月半ばに延期となっております。島の現状を知った子供たちが、今後これらと見比べると違った角度からも南島の自然を見られるようになったらと思います。